



倉田小だより 5月号

～つながり いきいき 倉田っ子～

横浜市立倉田小学校



今 わたしにできること

校長 末松 隆一郎

新年度が始まって一ヶ月が過ぎようとしています。季節のバトンを受け取ったかのように、街のそこかしこでツツジの花、連なり咲き渡る頃となりました。倉田小の子ども達も、新しい環境の中での生活に慣れ始め、「日常」を確立していく中で、それぞれのがんばりや元気な笑顔を見せてくれています。

昨年度、倉田小に着任して初めての全校朝会で、1冊の本を紹介し、次のような話をしました。

「ハチドリの一としずく」

森が燃えています。森の生き物たちは、われ先にと逃げていきます。

でも、クリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落ととしています。

動物たちがそれを見て、「そんなことをして、いったい何になるんだ。」と笑います。

クリキンディは、こう答えました。

「私は、私にできることをしているだけ。」



(引用:光文社「ハチドリの一としずく」※光文社の許可を得て掲載)

みなさんは、このハチドリのクリキンディの行動をどう思いますか。無駄な事をしていると思いませんか。「私は、私にできることを しているだけ」という言葉は、とても大切なことを私たちに教えてくれていると思います。例えば、校長先生が、倉田小学校の目標は、「戦争や犯罪のない、平和な世界をつくりましょう。」と言っても、みなさんはどうしたらいいかわかりませんよね。「できっこないよ。」と思うかもしれません。でも、「できっこない」から、何もしなくてもいいのかなあと、先生は思います。クリキンディのように、今、自分ができることをやっていくことが大切だと思います。世界の平和を目指すならば、まず、自分が、周りの人たちを大切にすることを。いじめのない、平和なクラスや学校にしていくこと。そういう、一人一人の気持ちと行動が、やがて大きな大きな力になっていくと、先生は思っています。

—令和3年4月19日 全校朝会—

なぜ、一年前の朝会の話を紹介させていただいたか。それは、コロナ禍に加え、ウクライナの状況等、私たちも含めて「今、私たちにできること」を考えることの重要性がより増していると思ったからです。それら以外にも、私たちの周りには社会的諸問題が多々あります。しかし、一番大きな問題は、「そんなことして何になるんだ」とか、「自分たちには解決する力はないし関係ない」と、目をそらしてしまうことではないでしょうか。

「今、私にできること」を考え、少しでもできることがあれば行動し、それを積み重ねていくことで、「燃えている森の火」も、消すことができる、そんな人の力を信じたいと思っています。

「今、私にできること」、ご家庭でも話題にさせていただければと思います。